

*** AQHA ユースワールドカップ 2023 参加報告 ***

- アメリカ テキサス州 2023年6月29日～7月9日
- 参加国/22 参加チーム/17
- 日本チーム結果
競技部門・・・入賞 6
文化部門・・・入賞 3

カッティング #1	15 位/35(結衣)
カッティング #2	12 位/35(結衣)
トレイル #1	3 位/32(杏弥)
レイニング #1	7 位/18(結衣)
ランチライディング #1	14 位/33(結衣)
トレイル #2	15 位/33(結衣)
リップシンクコンテスト	3 位/17
スクラップブック	2 位/17
アートフォト	1 位/17



■ 選手コメント

【田邊杏弥】

私がアメリカのテキサス州に行って 1 番驚いたのがどこを見渡してもほとんどが馬関係の建物で埋め尽くされていてとにかく敷地が広すぎるということです。AQHA の服を来てスーパーに行くだけでも声を掛けられるというほど馬というものが知れ渡っていて私にとってもうそこが 1 番日本と違うところだなと思いました。そして今回のユースでは馬を壊さない、邪魔しないで乗るということを教わりました。でも馬を動かすのは自分自身だからそこで壊さないって言うのがすごく難しく、いい勉強になりました。合宿所や会場は馬仲間がたくさんいて、この人たちは皆馬をやってるんだと思うともう嬉しくてしょうがなかったです。このユースワールドカップで学んだことを最大限に活かしてこれからも乗馬を続けていきたいと思います。携わってくれた方々ほんとうにありがとうございました。



【田邊結衣】

アメリカの空港に着いた時のワクワク感は今でも忘れられません。でもコーチのゆうこさんと、マネージャーのさおりさんが一緒にいてくれたから私は不安のない毎日をおくれました。

日本チームだけでの合宿はアメリカの APHA の show をみたり、お買い物したりしました。Joe さんの牧場で素晴らしい馬を貸してもらい特訓をしました。とにかく馬が最高でした。私はいつも指示が弱いのでここでもそのことについて言ってくれました。とってもいい経験になりました。

最初の show は人生初めての cutting でした。私がいつもスマホの画面から見ている馬の動きが、実際見ると全然違いました。初めて本物の牛を追い、私は最初追っていた牛を逃してしまいました。その失敗があって後半は牛を逃さずにできましたが、後から悔しい気持ちが湧いてきました。もっとこうしていれば、という気持ちがありました。けどこの気持ちが最初にあったからこそ心を引き締めることができたし楽しく試合に挑めました。

ほんとに 18 日間はあっという間で充実していました。関わってくれた全ての方々に感謝しています。



■ マネージャーコメント

【宮本さおり】

チーム Japan のマネージャーとして同行させていただくのは 2018 年の YWC 以来 2 度目でしたが今回も多くを学ぶ機会となり、とても内容の濃い 16 日間だったと思います。現地の牧場でレッスンを受けるため YWC 日程よりも数日早くテキサス入りしたことは、選手にとってとても良い時間だったと思います。特に選手 2 名は初めてのアメリカでの滞在とお聞きしていたので、きっとドキドキとワクワクでアメリカに向かったと思います。到着後すぐに YWC に参加するよりかは気持ちに余裕を持つことができ、アメリカの雰囲気や少しづつ感じながら体を慣らすこともできたと思います。選手の方々、YWC が始まってからは毎日早朝から夕方までのハードなスケジュールに加えて初めてのことばかりで戸惑うことも多かったかと思いますが、すべてのクリニックと競技にしっかり取り組みとてもよく頑張っていたと思います。私は通訳をしながら常に選手 2 名と行動を共にしていたことから結衣さんと杏弥さんそれぞれの大会に臨む姿勢や心境の変化を間近で感じることができ、日に日に変わっていく選手の成長にとっても嬉しく感じました。クリニックでは、講師の方々から丁寧な指導やアドバイスを受けることができたと思います。基礎がいかにか大事なことかを合宿やクリニックに参加して学んだこ

と思います。今回の合宿やクリニックに参加して教えていただいたことは今後の乗馬の技術を向上していく上で、とても役に立つ大事なことばかりです。教えていただいたことをいつも思い出しながら普段の練習に活かしてほしいなと思います。競技では、初めてエントリーする競技もあり不安や緊張もある中で、他国のハイレベルな選手に最初は圧倒されることもあったかもしれませんが、次から次に進められる競技スケジュールに対応しながら自分のベストを尽くせるよう努力していたと思います。なかなか思い通りに乗れなかったり、クリニックではできたのに競技では上手くいかなかったり、一つ一つの競技に自分の頑張りが発揮できたものもあればもっとあの時こうすればよかったと悔しさが残る部分もあったかもしれませんが、それは今後の課題として次につながるものだと思います。選手の方々が競技で入賞しメダルを獲得できた時、結果が形に残り達成感もあり本当に嬉しそうな表情をしていてとても印象に残っています。また期間中、他国の選手から学ぶことも多かったと思います。馬に乗ることが上手や下手ばかりでなく、厩舎での作業や馬を準備する他国の選手を見て影響を受けたと思います。それに声をかけてくれる他国の方々、Lip Sync をきっかけに多くの方から嬉しい言葉をたくさんお聞きました。また、他国の共に頑張っている選手からも応援の言葉があったり、他国のコーチからもすべての競技に取り組む選手を見て「素晴らしい」と直接伝えていただいたり、自分達の事だけでなく周囲に目を向け、素直にそれを言葉にして伝える姿は日本人も見習うべきことだと感じました。そして、多くの素敵な方々に出会えたことは本当に貴重なことであり、大切な思い出になると思います。この YWC に日本代表として参加し競技で頑張った結果を残すことも大事なことです。それ以上に学んだこと、刺激を受けたことは大きかったと思います。今後の生活や人生において活かすことができるものばかりです。選手の方々には、この YWC に参加した経験を忘れずにそれぞれの目標に向かって今後も成長し続けてほしいと思います。そして、もっと多くの若い世代に YWC を知ってもらい、影響を与える存在になってほしいです。また 2 年後の開催に向けて、新たな日本代表の選手が世界で活躍していくことを今後も応援していきたいです。

■ コーチコメント

【坂下ゆう子】

この場に参加できたことに感謝します。

サポートしてくれた方々に感謝します。

日本ではウエスタン馬術をしているユースがとても少なく、ここに参加するための選考会に応募したのはこの 2 人だけでした。競う相手がいないまま日本選手は、22 か国 17 チーム、107 名のユースが集う YWC に参加しましたが、彼女たちはよく頑張っていてそして楽しみました！もともとシャイな 2 人が、ここに来てどんどん積極的になり堂々として、成長していくのを間近に見ることができて私は幸せでした。

このイベントはとても素晴らしいです。日本チームのこれからの使命は、自国で未来を担う若者たちを増やし世界を体験する機会を与えることだと思います。